



民間技術交流会の聴講者を募集します(CPDS 認定講習会)

- 民間事業者が開発した港湾・海岸分野の最新技術を発表 -

1. 概要 中部地方整備局名古屋港湾空港技術調査事務所では、民間事業者等により開発された有用な技術を管内の港湾・海岸整備において積極的に活用していくため、その技術を港湾整備関係者にプレゼンテーションをしていただく場として「民間技術交流会」を開催しています。
- 第24回交流会は、オンラインセミナー形式で開催します。本交流会はCPDS認定学習講習会であり、開催にあたり建設関係に従事されている方の聴講を広く募集します。
2. 日時 令和3年11月18日(木) 13時30分～16時30分
3. 開催方法 オンラインセミナー(WEB開催)
4. 発表技術
- ①ジオドレーン工法【ジオドレーン協会】
 - ②NSカバープレート【日鉄エンジニアリング株式会社】
 - ③超音波式多層流向流速計による波浪観測【三洋テクノマリン株式会社】
 - ④消波根固ブロックによる水産協調技術【株式会社不動テトラ】
- ※各発表技術の概要は別紙参照
5. 募集要項
- 募集対象 : 建設関係者
- 募集人数 : 50名程度
- 応募方法 : 下記に示す①～⑥の事項を記載したメールを申込先まで送信して下さい(メール表題に「第24回交流会」と記載願います)
- ①お名前・ご所属・役職・所属先住所
 - ②連絡先(Mail、Tel、Fax)
 - ③オンライン中の連絡先(携帯番号など)
※トラブル対応のため、必ず本人と連絡が取れる番号を記載願います
 - ④接続テスト参加希望日時
※詳細は「6. 注意事項」参照
 - ⑤CPDS 会員番号
※CPDS を希望しない場合は省略可



⑥CPDS 技術者証のカラーコピーの添付

※CPDS を希望しない場合は添付不要

※学習履歴の代行申請および受講中のモニターによる
本人確認のために必要となります

申 込 先 : (事務局)特定非営利活動法人 伊勢湾フォーラム

E-mail : contact@isewanforum.org

申込人数 : メール1通につき応募者1名とします

(応募者が複数である場合は非選定とします)

参加費用 : 無料

応募締切 : 令和3年10月28日(木) 17時

選定方法 : 応募数が募集人員を上回る場合は、応募締切後、抽選のうえ
決定します

当選通知 : 令和3年10月29日(金)に、当選者のみメールで返信します

6. 注意事項

◆本交流会は web 会議アプリケーションによるオンラインセミナーです。

◆参加にあたり、PC(1人1台、10インチ以上のタブレットも可)、マイク・スピーカー・WEBカメラ(PCに付属していない場合)、ネットワークを用意していただく必要があります。

◆web 会議アプリケーションおよび利用環境は以下のとおりです。

種別	製品名
OS	Windows10
ブラウザ	Microsoft Edge、Chrome
アプリケーション	Microsoft Teams

※2020年11月30日に、TeamsにおけるInternet Explorerのサポートが終了しましたので、Internet Explorerでは会議URLへアクセスしても動作しない旨のメッセージが表示されます

◆交流会前に開催される接続テストに必ず1回以上ご参加下さい。

【接続テスト予定日時】 ※1回20~30分程度

・11月 2日(火) AM または PM

・11月 8日(月) AM または PM

・11月11日(木) AM または PM

※上記から参加希望日時を選択して応募メールの④に記載して下さい。

※上記予定日時での参加が困難な方は、応募メールの④にご都合の良い日時を記載してください。できる限り複数記載願います。

※AMは9:30~12:00、PMは13:00~17:00を想定しており、参加者の希望日時を集計した上で、詳細な日時を調整させていただきます。

◆web 会議への参加方法は、名古屋港湾空港技術調査事務所ホームページに掲載しております。

URL : <http://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/>



7. その他
- ◆本交流会は、CPDS(継続学習制度)認定講習会です(3ユニット付与)
 - ◆本交流会の学習履歴申請は、主催者が代行します。
 - ◆受講のエビデンスは、専属の管理者が受講者のモニター管理を行います。
また、受講中に4回、受講者全員分のスクリーンショットを行い、(一社)全国土木施工管理技士会連合会に提出します。
 - ◆CPDSを希望される方は、交流会中はCPDS技術者証をお手元にご用意願います。主催者より確認させて頂く場合がございます。
8. 配布先
- 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾空港タイムス、港湾新聞社、日本海事新聞社、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース
9. 問合せ先
- 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
技術開発課 松永(まつなが)、京田(きょうだ)、板倉(いたくら)
連絡先 : TEL 052-612-9984 FAX 052-612-9477



(別紙) 第 24 回 民間技術交流会 発表技術一覧(発表順)

	発表技術	発表者	技術の概要
1	ジオドレーン工法	ジオドレーン協会	<p>本工法は軟弱地盤の圧密促進工法である。</p> <p>従来工法では水平排水として天然資源であるサンドマットを使用していたが、本工法ではサンドマットの代わりに水平ドレーン材を用いる事で天然資源の削減を図る。</p> <p>また従来工法のドレーン材は石油系プラスチック製であったが、本工法では生分解性プラスチック製を用いることで、環境負荷を低減する。</p>
2	NSカバープレート	日鉄エンジニアリング株式会社	<p>5年毎の近接目視点検が義務化された橋梁では、点検・補修作業時の桁下アクセス性が課題の一つであり、特に鉄道や幹線道路、航路を跨ぐ箇所では交通規制や点検コストの課題がある。また、鋼橋の維持管理面では防食耐久性が重要テーマの一つであり、特に海浜部の塩害対策が課題である。</p> <p>NSカバープレートは、点検・補修作業に対して常時全面歩行可能な「常設足場機能」と、鋼桁の「防食・長寿命化機能」も併せ持った多機能防食デッキである。</p>
3	超音波式多層流向流速計による波浪観測	三洋テクノマリン株式会社	<p>波浪観測機能を搭載した超音波式多層流向流速計(NORTEK: SIGNATURE)の波浪観測への適用可能性について確認するため、現地海域において多機能型海象観測装置(DL-3)、波高・波向・流速計(WAVE-HUNTER)との比較試験を実施し、実用性を検証した。</p>
4	消波根固ブロックによる水産協調技術	株式会社不動テトラ	<p>消波根固ブロックによる水産協調技術については、従来は、海藻の着生促進を目的に、着生しやすい稜線部を形成するため、ブロック表面に溝や凹凸を施す工夫が行われてきた。</p> <p>当技術では、水理機能とのバランスを取りながら、形状そのものを海藻着生に配慮した改良型のブロックを開発し、さらに必要に応じて着生した海藻への栄養塩の供給、魚類の餌となる小型餌料生物を増殖させることが可能なブロック貼付用の付加製品を開発した。</p> <p>また改良型ブロックを用いて海岸構造物を建設した場合、従来型ブロックを使用した場合と比較して建設時に排出するCO2を抑制し、供用開始後のCO2固定量を増加させることが期待できる。</p>